

原子力発電所特別委員会  
環境整備対策分科会会議録

1 日時 昭和 44 年 10 月 14 日（委員会休憩時間中）

2 場所 第 1 委員会室

3 出席委員 関 市太郎君 田村光仲君  
葉賀清治君 柴野寅平君  
山崎三司君 飯塚 正君  
以上 6 人

4 欠席委員 渡辺政太郎君 矢代彦作君  
以上 2 人

5 事務局職員 次長 竹田新一郎君  
主事 小越哲雄君

6 事件 (1) 主査の互選  
(2) 副主査の互選  
(3) その他

7 署名委員 柴野寅平君 山崎三司君

8 開議 午後 0 時 37 分

9 議事の経過概要

(1) 主査の互選

田村年長委員 主査の互選は、どのような方法でやったらよろしいか。

柴野委員 原発に最も関係があるのは荒浜と高浜である。その辺の人から、な  
ってもらってはどうか。

葉賀委員 関さんか田村さんがいい。

柴野委員 年令では田村さん、議員の回数では関さんだ。

葉賀委員 関さんでどうか。（全員一致の推せんにより、関市太郎君が主査に互  
選された。）

（関市太郎君が主査就任のあいさつをした。）

(2) 副主査の互選

関主査 副主査の互選の方法はどのようにしたらよいか。

（「主査の指名」の声あり）

関主査 それでは、田村さんをお願いしたいが、異議ないか。

（「異議なし」の声あり）

（田村光仲君が副主査に互選された）

（田村光仲君が副主査就任のあいさつをした）

(3) その他

関主査 せっかくの機会なので、分科会のことについて何か意見があったら、どうぞ。

葉賀委員 当面の問題は道路だと思うが、今の所、どうなるのか、さっぱり、わからない。

柴野委員 現地を視察することが必要ではないか。

飯塚委員 現地の総代さん等の意見を聞くことも考えたらどうか。

田村委員 荒浜にとって道路がどうなるかということが最大の問題である。

関主査 それでは、いずれ具体的な動き方については、また相談することにする。今日は、これで散会する。

10 散会 午後 0 時 50 分

委員会条例第 23 条第 1 項の規定に準じ、ここに署名する。

原子力発電所特別委員会環境整備対策分科会

年長委員 田村光仲

主査 関市太郎

署名委員 柴野寅平

署名委員 山崎三司